

# 道岳連だより

広報 NO.75  
平成27年8月31日  
北海道山岳連盟

<http://www.hokkaido-haa.net/>

## 「山の日制定記念」フシ事業 … ふるさとの山に登ろう …

ご存知のように国民の祝日「山の日」が制定され、来年2016年から8月11日が国民の祝日となりました。

それに伴い、北海道山岳連盟(道岳連)では、日本山岳協会の取組に呼応し、今年のフシ事業として「ふるさとの山に登ろう」という下記の事業を企画しました。



祝日「山の日」制定の趣旨は、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」もので、登山を愛好する皆さん、おおいにこの趣旨にご賛同をいただき、多数のご参加をお待ちしています。

北海道山岳連盟会長 小野 倫夫

### 10月4日 一般参加者を募集して実施する団体

①「室蘭岳」秋の市民登山会…室蘭山岳連盟 ②「富良野西岳」富良野市民登山会…富良野山岳会 ③「美唄山」…美唄山岳会 ④「神居尻山」…こぶし山岳会 ⑤「蝦夷松山と雁皮山」…函館山の会 ⑥「北稜岳」陸別町民登山会…陸別北稜山岳会 ⑦「四方嶺」…登別嶺友会 ⑧「樽前山」…静雲山岳会 ⑨「札幌岳」…ロビニア山岳会 ⑩「尻別岳」…遊悠倶楽部 ⑪「二股岳」…函館マウンテンクラブ ※10月3日

### 9月の市民登山会にあわせて実施する団体

⑫「ニセコ シャクナゲ岳」札幌市民登山会 9/6…札幌山岳連盟 ⑬「イチャンコッペ山」恵庭市民登山会 9/6…恵庭山岳会 ⑭「徳舜瞥山とホロホロ山」千歳市民登山会 9/12…千歳山岳会 ⑮「オダッシュ山」新得町民登山会 9/23…新得山岳会 ⑯「白雲山～天望山～東雲湖縦走」釧路市民登山会 9/27…釧路山岳連盟

### 10月4日 道岳連会員限定で協賛登山会を実施する団体

①「十勝岳」…美瑛山岳会 ②「恵庭岳」…恵庭山岳会 ③「定山溪天狗岳」…北海岳友会 ④「伊達紋別岳或いは近隣山城」…王子製紙山岳部 ⑤「樽前山」…苫小牧山岳会 ⑥「ホロホロ山」…札幌山の会 ⑦「北稜岳」…北見クーラカンリ ⑧「剣山」…釧路山遊会 ⑨「チセヌプリ」…今金山岳会 ⑩「北見富士」…北見山岳会

# 北海道アウトドアフェスティバル 2015 in ルスツ

・・・トレイルランニング大会 9月27日(日)・・・

今年の「北海道アウトドアフェスティバル」は、9月26日(土)にロゲイニング大会、9月27日(日)にトレイルランニング大会がいずれもルスツリゾート貫気別岳周辺で開催される。

トレイルランニング大会は、今大会から50mile(80km)を採用、出場ランナーは“北海道一ツライコース!?”に挑戦することになる。

既に参加申込期日が締め切れ、スムーズな大会運営には多くの競技役員が必要なため、実行委員会では道岳連加盟団体の積極的な協力を要請している。

トレランのクラスは、80km(累積標高差5,000m)、60km(同3,500m)、40km(同2,500m)、16km(同900m)、6km(同270m)、キッズ(3.6km 同130m)の6種目で実施される。



昨年の大会のスタート

## 行事・各委員会事業報告

### 平成27年度 総会・第1回理事会 5/10 札幌エルプラザ

平成27年度北海道山岳連盟総会・第1回理事会は、5月10日(日)午前10時より札幌エルプラザで54名の代議員・理事が出席して開催された。

小野会長の挨拶の後、総会議長団に苫小牧山岳会の泉田代議員、美唄山岳会の山田代議員を選任し議事がすすめられた。今総会に提出された議案は、第1号議案 平成26年を振り返って、第2号議案 平成26年度事業報告、第3号議案 平成26年度各収支決算報告、第4号議案 会計監査報告、第5号議案 加盟団体脱退、第6号議案 平成27年度へ向けて、第7号議案 平成27年度活動方針及び事業計画(案)、第8号議案 平成27年度会計予算(案)、第9号議案 組織・運営管理規定の一部改正について、第10号議案 各種議題(個人会員制度細則、備品管理規程、備品管理様式、全道交流登山会要項、備品台帳報告)第11号議案 その他(規約規程集、道岳連リーフ、事業計画一覧表)で、それぞれの担当者から提案説明がなされた。



議案に対し、スポーツクライミング指導者養成講習

・検定会が事業計画に予定されていない件、諸会議旅費の計上額が3月理事会提案内容と異なる件、認定自然保護指導員が在籍しない加盟団体の数と対策などについて質疑応答があった。

総会終了後に引き続き第1回理事会が開催され、組織・事務局体制、平成27年度加盟金の確認と早期納入についての要請があり、総会及び理事会を終えた。

## 第29回全道交流登山会士別大会 6/13-14 天塩岳

第29回北海道山岳連盟交流登山会は、士別市と朝日町の合併10周年を記念して、朝日山岳会が主管し残雪の天塩岳で6月13-14日の日程で開催した。

今年度は6月の夏山シーズン幕開けの開催で、全道から道岳連加盟31団体、226名が集った。



一日目は、岩尾内湖畔白樺キャンプ場で開会式と交流会を行い、主催並びに主管の小野会長と井出朝日山岳会長に加え、牧野士別市長も会場に駆けつけ来賓挨拶があった。生憎の霧雨で、交流会はテント内で実施、ビンゴゲームでは地元の特産品が提供され、サフォークの羊肉も振舞われた。

二日目も小雨の中、主催者が用意したバスで登山口の天塩岳ヒュッテに移動。天塩岳新道コース、前天塩コース、旧道(沢)コースの3コースに分かれ天塩岳を楽しんでいた。



天塩岳ヒュッテ前で出発準備



天塩岳旧道(沢)コース

## 日高登山研修所開所式 4/18-19 日高登山研修所

平成27年度道岳連日高登山研修所の開所式及び各専門委員会会議は、4月18-19日に開催され、運営委員を含め71名の会員が参加した。

例年通りオリエンテーション後は、グループに分かれて研修所内外の清掃作業。終了後は各専

門委員会議～指導員全体集會が開かれた。17時からは懇親交流会、今回の食事準備は常任理事が担当し、大勢の参加者が交流を深めていた。

二日目は、日勝ピーク周辺で山スキー・スノーシュー班、SABなどの氷雪技術班と研修所内での救命救急法班、DVD鑑賞班に分かれて研修を行い、昼食後の13時に解散した。



交流会



山スキー班



氷雪技術班

## 春期遭難対策研修会 4/11-12 白銀荘保養センター・三段山

平成27年4月11-12日の両日、十勝岳連峰三段山において、春期安全登山のための研修会を開催しました。

今回は、12名の参加があり、三段山登頂を目指しての研修会となりました。初日は室内において昨年から今年にかけての道内山岳事故の状況や三段山ルート上の過去4月から5月までに発生した雪崩の危険箇所について、アイゼンとピッケルの種類と使用目的、野外においてはアイゼンによる登攀方法や滑落停止方法のほかビーコンの特性、発信源XYZ方向における電波の伝わり方、雪崩事故時のビーコン操作において、捜索に支障を来さないよう捜索者ビーコンの発信・停止や電源オフなど、グループ内の統制を取るための研修を行いました。

2日目は、7時20分白銀荘前よりスノーシューを履いて出発、この時期雪崩の危険性の高い一段目、二段目の現場を確認しながら登攀。頂上直下の急斜面からアイゼンに履き替え、2名1組でスタンディングアックスビレーを実施、最後は同時登山の体制で登頂。この日は晴天の青く濃い空に十勝岳や富良野岳の白い稜線がクッキリ描かれていました。（報告 遭対委員長 斉藤 邦明）

スタッフ 委員長 斉藤 邦明 副委員長 仲井 信夫  
指導講師 為野 宜己 潮田 満 内藤 美佐雄



室内での研修



三段山頂上稜線

## 登攀技術研修会 5/30-31 日高登山研修所・上滝ロック

本年度の登攀技術研修会は、5月30～31日の二日間で北海道山岳連盟日高登山研修所と上滝ロックを会場として実施されました。

今回の参加者は9名、講師スタッフが3名の合計12名と昨年より若干増えました。1日目午前は机上研修ということで滝沢講師より「登攀用具の知識」石川講師「確保理論」についての講義に始まり昼食を挟んで、午後から「制動確保技術実技」の予定でしたが、研修所裏の実技場所が工事車両の出入りがあり、使用できなくなりました。急遽翌日予定していた上滝ロックに変更し、クライミングと確保の実技研修を行いました。

2日目、夜半からの雨は止まず、屋内体育館で制動確保技術研修をすることになりました。錘は40kgとして衝撃加重を体感しながら徐々に制動をかける感覚を肩がらみとビレイデバイスで数回ずつ実施してもらいました。前日の確保理論が少しは理解できたのではないのでしょうか。指導員には仮固定まで実施していただき実技研修を終了しました。

初心者の方にはこれからクライミングを始めるにあたり勉強になったと思いますが、ベテランの方には物足りないものだったかもしれません。

講師ももっと資質をたかめなければならないと感じた研修会でした。

スタッフ 藤木 晴夫 滝沢 大徳 石川 孝一

(報告 指導委員会 石川 孝一)



4級の壁に挑むフラノの若きエース



上滝ロックで参加者と講師

## 沢登り研修会 6/27-28 日高登山研修所

今年の沢研修会は、日高登山研修所を主会場にして6月27日から28日の一泊二日で行われました。二日目の沢登り実践登山は、北日高のルベシベ山を予定しておりましたが、雨降り中止して屋内体育館でロープワーク主体の実践研修となりました。

参加者は個人会員2名、各山岳会から11名、スタッフ5名をあわせて18名でした。

スタッフ 藤木指導委員長 石川副指導委員長 横山指導常任委員 相馬指導員 長沼指導員  
以下、参加者2名の方々から感想文をいただきましたので紹介します。

## 沢・登攀研修会に参加して（1）

富良野山岳会 高見 直広

6月27・28日の「沢・登攀研修会」はスタッフ含め18名で開催されました。私は沢登りに関しては、先輩の間に入ってついて歩き楽しさを味わう程度、自らリーダーとして山行計画を立てて沢を登る知識を深めるために参加しました。

27日は机上講習。沢登りの心得、技術、装備について学習し、沢登りは尾根歩きに比べると魅力も大きい分危険も大きいため、地形や現在地を理解するための読図力、危険性を認識し安全を確保することの想像力と技術をあらゆる場面で駆使しなければならないことを確認することができました。懇親会では仲間の皆さんの奮闘話を聞きながら、楽しく語り明日の山行に備えました。

翌朝は4時に起床。外はシトシト雨模様。午前中まで回復の見通しが持てないので、登山は中止し、体育館での実技研修となりました。

沢登りに必要なロープワークや川を想定しての徒渉の方法、三点支持意識したボードの直登や懸垂下降を体育館で実践しながら、どのような状況でも「大丈夫かな？」という「安全性」を常に意識して適切に対処することがとても重要であることが実感することができました。

石川指導副委員長の「来年はチロロ！」の言葉を受けて、夏を迎え沢靴を履く機会を増やして、今回学習したことを実践し確認してみたいと思います。

雨で沢に入ることはできませんでしたが、思いを高める充実した研修をすることができました。ありがとうございました。



## 沢・登攀研修会に参加して（2）

個人会員 阿部 秀樹

これまでに何か大切なものを忘れてきたような衝動に駆られ、登山を始めたのが5年前。山の経験を重ねるうちに、日高の山に行きたいと思い、そのためには沢の技術が不可欠だということを知りました。昨年一度だけ沢に入る機会がありました。“尾根歩きと別世界で、冒険をしているような気分。緊張感が何とも心地よい。自然の中に分け入り、日常生活で忘れていた五感が研ぎ澄まされているような感覚”を得たことをはっきり覚えています。”

今回、本格的に沢の技術を学ぶために、思い切って「沢研修会」に申込みしました。研修当日、受講者名簿に目を通すと、各山岳会の指導員、上級指導員の方々が殆ど。沢シーズンを直前にした「指導員の皆さんの沢技術確認会」のような研修会に参加して大丈夫だろうかと緊張が走りました。

一日目は、午後一杯「技術机上研修」、石川コーチ、横山上級指導員からは、書籍では得難い体験談を織り込んだ素晴らしい講義を受けることが出来ました。体験談がスーと体に浸みわたりました。夕食後の交流会では、小林上級指導員から主に道南の有名な沢をスライドで紹介していただきました。いつしか自分も沢登りをしているような錯覚に陥り“沢で焚き火を囲み、満天の星空を肴に酒を飲み交わし、そして瀬音を聞きながら寝入るテント泊”のイメージを抱きながら就寝につきました。

翌朝、いよいよ「パンケヌーシ五ノ沢からルベシベ岳」への実地訓練、のはずでしたが、雨。天候回復の兆しが見えない中で苦渋の決断だったので、残念ながら実地はお預けとなり日高登山研修所の室内訓練場での訓練に変更となりました。ロープワーク、実践的な渡渉訓練、懸垂下降の訓練は大変勉強になりました。何回も何回もロープワークの練習をすることが出来ました。本当に有難うございました。

沢用語に「出会い」というものがあります。個人会員になって初めて会員限定の講習会に参加出来るようになりました。本当に恵まれた有難い機会です。これからも「出会い」を求めているいろいろな研修会に参加したいと思います。

藤木委員長、石川コーチ、横山上級指導員、そして相馬指導員、長沼指導員、本当にお世話になりました。心の底からお礼申し上げます。今後とも指導をお願い申し上げます。



机上講習



雨天により体育館で実技

## 第4回女性リーダー研修会「パワフルレディース」 7/18-19 表大雪赤岳～黒岳縦走登山

今年で4回目を迎えた女性リーダー研修会「パワフルレディース」、多くの方が参加できるように、集まりやすい大雪山縦走を1泊2日で計画する。上級指導員2名、指導員2名、会員2名の6名の参加で、台風の影響を心配しながらも天気に恵まれ無事終えることができた。

1日目、銀泉台に集合し共同装備を分け合いパッキング。準備体操をして行程や注意事項を確認。地形図を出して高度計とコンパスで方位を設定し出発する。高度を上げていくにつれて東大雪や北大雪の山々が見えてきて展望が広がる。そして次々とお花畑が現れて、重い荷物と暑さの苦しい登りだが、自然の景観に癒されながら一步一步足を運ぶ。

3時間ほどで赤岳頂上に着く。お鉢周囲の表大雪の山々が見事に見渡せ感動する。興味のあるピークは山座同定で確認し昼食休憩をとる。ここからは小泉岳を經由し白雲岳避難小屋キャンプ指定地へ向かう。キャンプ地は雨予報のためか、予想したよりテント数が少なく、余裕で2張りのテントを設営する。水汲みや食



事の準備など役割分担し手際よく行う。丁度食事が出来上がった頃に小雨が降り出し、テントの中に移動して夕食を摂る。山の話や女性ならではの話に盛り上がり、20時就寝、夜半も雨は降り続いてきたが、夜明け頃に止んでいた。

2日目、朝食を食べている頃には雲の間から青空が見えてくる。テント撤収し出発。天気も回復し、予定通りにお鉢回りができる事に安堵する。北海岳に向かって進んでいくと、さすがに人気の大雪山！！山頂は縦走の交差点でもあり常に大勢の人達が入れ替わり休んでいる。我々も北海岳で小休止し、お鉢回りを開始。お鉢平に大きな熊を発見。刺激で駆け上がってこないようにと大声を出さないようにして通過。

松田岳、荒井岳、間宮岳のピークを踏み、一度コルへと下る。登り返すと北鎮岳肩の分岐へ到着。リュックをデポし北海道第二の高峰北鎮岳頂上へ。お鉢平を巡る山々や鋸岳、愛別岳など360度の展望を堪能し、お鉢平展望台で昼食休憩をとる。黒岳石室への途中、振り返ると旭岳や北鎮岳の残雪が描く雪形がはっきり見え鑑賞しながら黒岳石室に到着。

荷物を置いて桂月岳に登る。ここから観る黒岳の大岩壁は壮観である。石室で一息つき、あとは黒岳山頂を踏んで7合目リフト乗り場へ。リフト・ロープウェイを乗り継ぎ層雲峡駅へ到着、1泊2日の縦走登山を終了する。

この時期の表大雪の魅力はお花畑のスケールの大きさ、歩く先々でたくさんのお花と巡り合い、暑さと荷物で疲れた身体を癒してくれた。

女性リーダー研修会は、それぞれの役割を分担し、行動計画の立案から始まり、行動や生活に必要な技術を実践。そして気象の変化や読図の基本などを学習し合いながら、安全登山の技術や知識を、参加者全員で共有し合えた有意義な研修会であった。（報告 指導委員会 下山 シゲ子）

スタッフ 下山 シゲ子（釧路山遊会） 酒井 まり子（ロビニア山岳会）



## 女性リーダー研修会（パワフルレディース）に参加して 富良野山岳会 柴原みのり

女性リーダー研修会（パワフルレディース）、昨年山岳会に入会したばかりの、地図の読み方もコンパスの使い方もままならない自分には、まだまだ無縁と思っていましたが、6月の交流登山会のときに声をかけられて、さらに会の先輩に後押しおされたこともあり参加させていただくことになりました。

銀泉台に集合し自己紹介のあと、共同装備の分担。昼過ぎから翌日の15時くらいまで雨の予報でしたが、出発時点ではお天気。せめて白雲小屋に着くまで天気がもってくれればと皆で願いながらの出発です。折角参加したのだから、なんでも学んで帰らなければと、まずは地図の読み方、コンパスの使い方を教えてもらいます。コザクラ、コマクサ、イワブクロ等のお花を楽しみながら、3時間ほどで赤岳山頂に到着。お昼休憩をした後、白雲小屋を目指します。

三連休でテント場は混んでいるとすれ違いの方に教えていただいていたので、白雲岳に登る前にまずテント場に行くことに、雨予報のためテントを張る予定をしていた人が小屋泊に変えたのか、小屋は満杯のようでしたが、私たちパワフルレディースには、小屋が空いているようがいっぱいだろうが関係ありません。雨が降る前にテントを設営し、手分けして夕食の準備に取



り掛かります。夕食は野菜チャウダーにナスの即席漬け、野菜チャウダーは半分にご飯とチーズを入れてドリアに、先輩レディースの皆さんの手際の良さ、美味しい夕食に感心、感激しながら楽しい夜を過ごしました。天気予報どおりに夜は激しい雨が降っていましたが、朝には止み日頃の皆様の行いに感謝です。



チングルマと残雪の向こうに凌雲岳

今回参加させていただいて、他の山岳会の方々と知り合えたこと、女性だけの山行、パワフルな先輩レディースからたくさんの事を学び、そして刺激をもらって、自分もさらにレベルアップしていきたいと感じました。

参加を迷っていましたが、参加して本当に良かったです。背中を押してくれた先輩、ご一緒させていただいた皆様、本当にありがとうございました。

二日目、6時にキャンプ地を出発して北海岳へ向かいます。お鉢を一周して北鎮岳にも登り12時に黒岳石室に到着。お鉢でクマを見たり中岳分岐でフランス人とお話をしたり、タカネスミレのかわいいお花に癒されたり、そして雨にも当たるところか晴れ間の中を歩くことができたのが何よりでした。

黒岳山頂からの下りが意外と長く感じましたが、ほぼ予定通り14時30分にリフト乗り場に到着、リフト・ロープウェイを乗り継ぎ、15時過ぎに層雲峡駅に到着しました。

## 夏山講習-Part I 5/30-31 於古登山・小樽自然の村

平成27年度夏山講習-Part Iは、「低山ハイキング&初めての岩登り」をテーマに、5月30日(土)~31日(日)の二日間、小樽自然の村・おこばち山荘を宿舎に、低山ハイキング(於古登山)、岩登り(赤岩)を計画した。

受講者 15名(一般5名 個人会員5名 山岳会員5名)

スタッフ 読図G(橋本一郎・大嶋悠子) クライミングG(橋村昭男・石井昭彦) 総務G(神山健・玉木とし子)

行程 30日(土) 9:00 小樽自然の村(おこばち山荘)集合・オリエンテーション

10:00~14:00 尾根歩き 15:00~17:00 座学 18:00~夕食・懇親会

31日(日) 6:00 起床(雨/赤岩小屋…川口敬一氏所有へ) 14:00 終了

行動記録《1日目》

受付、開講式後、オリエンテーション、体調、装備点検後、於古登山とその山麓を周遊。周遊路は地形図に明記されていないが、ほぼ尾根上に。植生説明するスタッフの大嶋はオクエゾサイシンの群生を発見。於古登山708mから分岐621mを経て、大曲展望所582mに至る歩道南側に咲いていた。草たけ10cm、本州種名は双葉葵で徳川家の紋章に使われていたという。赤紫の小さな花は葉陰でうつむきに恥ずかしそうに咲いていた。

ウドが群生し、皆で歩行の合間に収穫した。みずみずしく柔らかい。生食してもさわやかな味。地形図とコンパス操作も忘れずに行う。天気は晴れ、多少蒸し暑い、それでも北海道の初夏は気持ちよい。鮮やかな緑の森の中、読図しながらゆっくりと周遊した。



於古発山と山麓の散策

山荘に戻り、3 時から翌日の簡単な岩登りのための準備、講習を行う。今回はほとんどが岩登り未経験者ということで基礎から始める。

ハーネスについてはサイズの選び方、足入れの注意、ベルトの締め方など。今回貸し出したものは折り返しが必要なタイプで、現在の主流は折り返しが必要ないことなども講師から説明する。

次にロープ結び。全員に練習用のスリング用ロープを持ってもらい、エイトノットとハーネスへの結束を練習する。全員初めてなので、この練習に多くの時間を費やした。この後、グローブヒッチ、ダブルフィッシャマンノットを練習して翌日の準備とする。

行動記録《2日目》

夜半から雨が降り出し、明け方になっても止まない。赤岩は中止、小樽市内にオープンしたインドアジムでの練習となった。個人ジムではあるが、一般にも開放しているということで使わせていただく。本来の目的であった尾根歩きの中での岩場の対処法はできなかったが、セルフビレイ、簡単な懸垂下降などを体験した。本格的なインドアクライミング、ロープを使ったり登ったりする行動は、参加者にとって貴重で愉快的な体験になったようだ。

朝までの雨は昼頃には晴れ、きれいな青空が広がった。それで昼食後赤岩見学に行く。この天気ではクライマーはいないだろうと予想したが、峠の駐車場は満杯であった。雨が降っても粘り強く晴れるのを待つ姿に感心する。赤岩峠から下赤岩山まで岩場を見学しながら散策する。近くの岩場ではクライミングを楽しむ彼らの声が聞こえる。

雨上がりの澄み切った空に遠く積丹、増毛、手稲、余市の山々の展望を満喫できた。さらに昨日登った於古発山や近くの遠藤山、塩谷丸山等もすぐそばの距離で見ることができた。一行はこのあと小樽自然の村に戻り、閉講式を行い解散した。

(報告 橋本 一郎・橋村 昭男)



ジムでクライミング初体験



赤岩の岩場を覗き込む参加者

## 夏山講習-Part II 7/11-12 東山・ペンケヌーシ岳

5月の夏山講習に続き、Part IIは、「初めての藪山歩き&沢道から花の山へ」にテーマを変え、7月11日(土)~12日(日)、国立日高青少年自然の家を宿舎に、東山とペンケヌーシ岳で実施した。

受講者 25名(一般9名 個人会員8名 山岳会員8名)

スタッフ 藪山(大岡良美ほか) ペンケヌーシ岳(西谷芳晴・新井孝ほか) 総務(新井素子・秋元篤男)  
アドバイザー(神山 健)

行程 11日(土) 9:30 日高青少年自然の家集合・開講式・オリエンテーション

10:30~14:30 藪山歩き(東山 811m) 16:00~17:30 座学 18:00~夕食・懇親会

12日(日) 6:00~8:30 起床・清掃・朝礼・朝食 9:30~15:30 ペンケヌーシ岳 1750m

16:00 自然の家で閉講式後に解散

### 行動記録《1日目》

受付、開講式、体調、装備点検の後、今日の講習テーマ「山で道に迷った時どうするか」実施に向けバスに乗る。登山道を歩いていても、いつの間にかルートを外してしまう。そしてパニック状態に陥る。そんな道迷いの事故が多い中、冷静な判断をして正しい登山道に戻るためにはどうするか。或いは道を見失わないためにはどうするか、藪山を登山しながら考えようというもの。

藪山・東山は道岳連日高登山研修所の近く。藪山リーダー・大岡さん(苫小牧山岳会)に導かれ、新井、西谷両リーダー(普及委員)に従ってブッシュの山を登る。途中、林道を何本もまたぐ。地形判断、読図、目印のテープ付け等、藪山歩きに必要な知識を体験する。近くの帯広が30℃超えの真夏日、慣れない藪漕ぎに汗も吹き出し、受講者が身近に感ずる道迷いという遭難事故の疑似体験。参加者には相当のインパクトを与え、手前みそながら企画は好評であった。



道なき道を(東山)

ひと風呂浴びた後、自然の家に戻り座学を行う。「登山道のない(道に迷った時の)山歩き」(大岡良美)、「(道に迷わないために)ベアリング表を作ってみよう」(新井孝)、「沢から花の山・ペンケヌーシ岳登山概要」(西谷芳晴)、座学の後は、いつもと一味違う夕食会、炭起こしから片付けまで、皆で楽しむジンギスカン。手違いは多少あったが、その後の懇親会ともども、中高年の楽しい交流モードが続いた。

### 行動記録《2日目》

昨日より気温が高いというニュースが伝わる。しかし今日は日高の花の名山を目指す。昨日の勉強登山とは違う行動計画に、参加者は気分高揚。幸せそうな表情を浮かべている。そのほとんどはペンケヌーシ初体験。いつも以上に慌ただしい宿泊所のお勤め(掃除、朝礼ほか)を済ませ、小型バス(中型・大型バス乗り入れ禁止)で登山口まで入る。

稜線に至る沢口で記念撮影を行い、コンパスを切り、沢中、沢沿いの夏道を登る。2~3度の渡渉をする。滑る、岩を飛ぶ、岩を跨ぐ。約半数はこんな沢中登山ルートも初めて。やがて沢水も切れ、待望のお花畑が広がる地点に至る。さらに低木帯を過ぎ、稜線の砂礫帯やらハイマツ帯を通り、青空ではなく、もやったような山頂に全員集合した。360度のパノラマ、素晴らしい日高深山の展望だ。帰路は後半、う回路辿って登山口へ。その道は疲労した足の休養になった。

(報告 普及委員会委員長 秋元 篤男)



沢登りに挑戦（ペンケヌーシ岳）



笑顔あふれて

## 受講者からの便り・・・夏山講習会に参加して

日高青少年自然の家9時集合から始まる研修登山、登山道のない東山へとバスで移動、地図とコンパスを活用して位置と進むべき方向の確認をする練習、気温も高く風もなく見通しもきかない中、自分の汗と格闘しながらの初日研修でした。

お約束のBBQは火を熾し、野菜をカットすることから始める野趣溢れる晚餐会。食尽し、飲み尽し、話は尽きないまま満天の星空に送られて終了となりました。

翌朝、日高の奥深いところにあるペンケヌーシ登山口に向けて出発。期待と不安がないまぜになる緊張する時間です。登山口正面の滝を見上げ登山開始。右に左に川の渡渉、滑る転ぶ濡れることを繰り返す私を、力強く引っ張り上げてくれるリーダーが心強く、初めての沢登りが楽しい山行となりました。

チングルマ、エゾヒメクワガタ、シラネアオイ、ヒダカキンバイの見事な花畑、ウコンウツギの咲始め、コマクサの小さな花畑を見ながら頂上へ。360度の眺望も存分に楽しみ、大の字になって見上げた空の深さが心に沁みました。ペンケヌーシに雫した汗、残した足跡、明日は土を一度も踏むことのない札幌のいることに思いを馳せながら、山岳会のみなさまと仲間に感謝いたします。  
(Y・O)

\* \* \*

道岳連普及委員会主催の夏山研修会に参加させていただきました。登山道のない藪山への挑戦はもちろん初めて。地図とコンパスを頼りに道なき道を必死に歩いた辛くも楽しい山行でした。それもこれも道岳連の皆様の丁寧で親切なご指導のお蔭であったことは言うまでもありません。

A班の大岡さんの真摯な山への姿勢と、リーダーとしての力強さからたくさんのことを学ぶことができました。私はB班で西谷リーダーのすぐ後を歩く役割でしたが、ついていくのに必死で、パーティー全体のことを考える余裕はありませんでした。大いに反省すべきところです。

東山山頂にたどり着き、その狭さと眺望の無さに些か驚きましたが、その達成感は予想以上のものでした。帰りも緊張感途切れず無事の下山となりました。宿舎に戻り、一日の振り返り講習が、藪山登山の経験のまとめになりました。一つだけ、生意気言わせていただければ、休憩が多すぎたと感じています。これは、スタッフの皆さんのご配慮と痛感し、大変ありがたいのですが、経験不足のせいもあり体と意識のバランスが上手に取れないと感じました。

夕食はジンギスカンと美酒、山行のあとだけに五臓六腑に沁み渡りました。更には一日を通じて多くの皆様とお知り合いになれたことも、この会ならではの持ち味と大いに感謝しています。

スタッフの皆様と、ご参加の山を愛する皆様にご心より感謝しています。是非、次の機会にもご一緒させてください。ありがとうございました。  
(W・W)

\* \* \*

本格的に登山を始めてかれこれ10年、それはいつも道のある山でした。素人がガイドブック片手に、登れる山を捜しては登る繰り返し。3?4年そんな山歩きを続けているうちに、何度か道を失い怖い目にあった事もあります。無事に下山したものの、今に遭難するかもという危機感から、講習会に参加することになりました。

1日目…藪山 藪山歩きはとても有意義でした。あわてず、あせらず行動する。全体をよく見る。良い経験になりました。811mの日高東山とはいえ、藪に行くのはなかなか大変です。疲労の度合いを考えると倍以上の高さの山を歩いた感じです。GPSの時代ですが、やはり基本は読図、コンパスを使えることだと思います。昨年GPSがあったのに春山で迷い、12時間もさまよいました。ついにはバッテリーが切れ! 下山時は真っ暗でした。

2日目…ペンケヌーシ岳 好天に恵まれ涼しい沢登りを楽しめました。稜線に出てからの展望の素晴らしさにも感動です。でも、山はお天気次第、急な天候の変化に、増水したら、ガスったら、一人だったらと考えると緊張します。また、登山口までの林道の長さ、険しさは、この山が深山であることを知らしめてくれました。一人だったら眺めもいいし、まあこの辺で弁当でも食べて帰ろうかと考えてしまう私ですが、同じ思いを持った人たちと登る楽しさ、経験豊富なスタッフのいる心強さは励みになります。

山は経験の積み重ね、色々なタイプの山を数多く登ること。山は楽しくなくちゃーと、掛け声をかけてくれたスタッフの方々と熱心な参加者の皆様に励まされ、これからも安全で楽しい登山を続けたいと思います。  
(T・Y)

## ジュニアとざん教室 2015 7/25-26 室蘭岳・白鳥ヒュッテ

7月25日(土)天候雨の中、登別酪農館で2015年ジュニアとざん教室の受付、開講式を行いました。開講式の挨拶は理事長の神山さん、スタッフ紹介などを行い2015年登山教室が始まりました。

廃校になった学校の体育館壁を利用したクライミングボードは、なかなか難しそうでした。

今年も参加人員が少ない中での実施になりました。子ども4名、保護者2名、スタッフ7名の計13名。前年からの参加者が殆どで、クライミングも経験者ばかりで果敢にかべに向かっていました。

スタッフ4名は食事の用意のため、先に室蘭岳白鳥ヒュッテに出発し、室蘭の横山さんに無理を言って荷揚げさせてもらいました。白鳥ヒュッテは電気こそないが、水道が完備されて食事の準備は順調に行えました。食事担当をお願いした太田さんには大変お世話になりました。

クライミング体験終了後、白鳥ヒュッテに到着した参加者、スタッフ達と楽しい食事、協賛品の分配、デザートのスイカなど楽しみました。

2日目天候は雨、昨夜からの降雨も考慮、室蘭岳登山は中止にし、ヒュッテ軒先を借り閉講式を行い、修了証書を授与、記念バッジを渡して解散しました。(報告 ジュニア委員長 八柳 正史)

スタッフ 八柳 神山 為野 横山 石川 小原 大田



果敢に壁に挑戦



白鳥ヒュッテで修了式

## 美瑛富士トイレブース点検 8/8 美瑛富士避難小屋

美瑛富士トイレ管理連絡会(北海道内の山岳9団体で構成)が、7月から9月の夏山シーズン中に計画する美瑛富士携帯トイレブース点検パトロールを、北海道山岳連盟が割当日となっている8月8日(土)に実施した。

作業は、避難小屋横に設置したテントタイプの携帯トイレブースの破損や固定ロープの緩み、便座等の汚損、小屋内外の清掃と残置ゴミの回収及び白金温泉に設置された回収ボックスの利用カウンター確認などである。

当日は、午前8時に美瑛富士涸沢登山口に集合、正午前に避難小屋に到着して、糞便の回収もあるため昼食後に作業を開始した。ブース下部の破損箇所は前回までのパトロール団体が粘着テープで補修済み。便座の汚れもないが、利用カウンターの数値は“2255”と正確とは考えにくい数になっている。その後は小屋周辺の使用済みティッシュや汚物を回収、小屋内の残置ガスボンベやペットボトルを含め分担して担ぎ降ろした。

気温が高かったこともあり、トイレ道周辺は糞尿臭が漂う。何度やっても人様の汚物の処理は気持ちの悪いものではない。多くの登山者に携帯トイレの携行をお願いしたいものである。

なお、同日に上川総合振興局主催の「自然観察ツアー」が実施されており、ツアー参加者や一般登山者に携帯トイレの使用協力と呼びかけた。 (報告 自然保護委員会 内藤 美佐雄)  
 パトロール参加者 道岳連・自然保護役員(土屋 神山 内藤 玉木 辻野) えぞ山道会(下川原) 富良野山岳会(山名 高見) 美瑛山岳会(小形 宮田 本村) 計11名



小屋周辺の清掃



パトロール参加者

## 第10回国体山岳競技北海道ブロック予選会 7/19-20

国体予選会は、平成27年度北海道体育大会山岳競技会を兼ねて、7月19日リード競技が美瑛市体育センター(参加90名)、20日ボルダリング競技がグラビティリサーチ札幌(参加78名)で開催された。

6種目の競技結果は次のとおり(上位3人まで掲載)

リード 成年男子			リード 成年女子		
1	関谷 斗馬	グラビティリサーチ札幌	1	萩原 亜咲	ウィップス
2	松浦 凌	グラビティリサーチ札幌	2	一安 瑛子	
3	梅津 恒平	ウィップス	3	増山 和	

リード 少年男子			リード 少年女子		
1	武者 知希	レインボークリフ	1	小武 芽生	北星学園女子高校
2	岸本 武蔵	美唄尚栄高校	2	上原子 瞳	グラビティリサーチ札幌
3	白戸 隆雅	札幌真栄高校	3	井上 桜花	札幌市立三角山小学校

リード ビギナー			リード キッズ		
1	藤島 理人	遠軽高校	1	田村 光	レインボークリフ
2	宮内 嶺	遠軽高校	2	田中 岳	札幌市立新川小学校
3	田守奈緒子		3	上原子音羽	札幌市立新川中央小学校

ボルダリング 成年男子			ボルダリング 成年女子		
1	松浦 凌	グラビティリサーチ札幌	1	萩原 亜咲	ウィップス
2	園谷 斗馬	グラビティリサーチ札幌	2	一安 瑛子	
3	梅津 恒平	ウィップス	3	増山 和	

ボルダリング 少年男子			ボルダリング 少年女子		
1	武者 知希	レインボークリフ	1	小武 芽生	北星学園女子高校
2	高木 智和	札幌工業高校	2	北谷 未紗	遠軽高校
3	岸本 武蔵	美唄尚栄高校	3	佐藤いぶき	グラビティリサーチ札幌

ボルダリング ビギナー		
1	藤島 理人	遠軽高校
2	黒澤 祐次	遠軽高校
3	玉島 章嗣	富良野緑峰高校



## 第70回国民体育大会（和歌山県）北海道代表選手団

成年男子	監督	石井 昭彦	旭川山岳会
	選手1	杉本 怜	Rhino and Bird
	選手2	松浦 凌	北海道科学大学1年
成年女子	監督	長井 洋子	登攀道場美唄
	選手1	一安 瑛子	北海道フリークライミング協会
	選手2	萩原 亜咲	北海道フリークライミング協会
少年男子	監督	山納 秀俊	北海道フリークライミング協会
	選手1	岸本 武蔵	美唄尚栄高校3年
	選手2	武者 知希	江別高校3年
少年女子	監督	一安 敏文	北海道フリークライミング協会
	選手1	小武 芽生	北星学園女子高校3年
	選手2	北谷 未紗	遠軽高校1年
トレーナー		本堂 雄大	祐川整形外科医院

和歌山国体(紀の国わかやま国体)山岳競技は、10月3日～5日まで和歌山県みなべ町で開催

## 第18回 JOC ジュニアオリンピックカップ大会 8/14-16 富山県南砺市

8月14～16日、富山県南砺市桜ヶ池クライミングセンターで開催された、第18回 JOC ジュニアオリンピックカップ大会は、今年6月に美唄市で行った奈良杯で選抜した男子4名、女子3名の計7名が出場した。

氏名	学校名・学年	生年別カテゴリー	カテゴリー順位
松浦 凌	北海道科学大学1年	男子ジュニア	6位/25人
岸本 武蔵	美唄尚栄高校3年	男子ジュニア	11位/25人
高木 智和	札幌工業高校3年	男子ジュニア	16位/25人
武者 知希	江別高校3年	男子ユースA	5位/33人
小武 芽生	北星学園女子高校3年	女子ジュニア	2位/10人
佐藤いぶき	札幌市立中の島中学校3年	女子ユースB	20位/27人
上原子 瞳	札幌市立新川中学校2年	女子ユースC	23位/25人

## 今後の諸行事(予定)

### 北海道アウトドアフェスティバル

期日 平成27年9月26日(土)-27日(日)

会場 ルスツリゾート

### 第70回国民体育大会(和歌山国体)山岳競技

期日 平成27年10月3日(土)-5日(月)

会場 和歌山県みなべ町

### 山の日プレ事業「ふるさとの山に登ろう」

期日 平成27年10月4日(日)

会場 全道の山



## 第 54 回全日本登山体育大会 宮城大会

期 日 平成 27 年 10 月 9 日(金)-11 日(日)

会 場 宮城県 栗駒山

## 第 2 回理事会

期 日 平成 27 年 10 月 18 日(日)

会 場 札幌エルプラザ

## 第 14 回スポーツライミング北海道選手権大会

期 日 平成 27 年 10 月 25 日(日)

会 場 北海道科学大学体育館

## 日高研修所閉所式

期 日 平成 27 年 11 月 7 日(土)-8 日(日)

会 場 日高登山研修所

# お知らせ

## ネパール大地震救援募金

道岳連としてのネパール救援募金の締め切りは 9 月末日までとし、集約した後に日山協宛送金します。8 月末日までの加盟団体からの募金状況は次のとおりです。

北見クーラカンリ、羅臼山岳会、滝川山岳会、函館マウンテンクラブ、RSI 山の会、室蘭山岳連盟、えぞ山道会、美瑛山岳会、同人アルファー、ロビニア山岳会 以上 10 団体

## 個人会員入会状況

昨年 10 月の第 2 回理事会で「個人会員制度細則」が承認され、募集を開始した「道岳連個人会員」については、各種事業に参加した登山愛好者を中心として着実に入会者が増えており、8 月常任理事会承認分を含め 18 名となっています。

## 天塩岳登山口に通ずる市道が通行止め

6 月に全道交流登山会を開催した「天塩岳」で、登山口に通ずる市道が 7 月末の集中豪雨で路面決壊し、現在通行止めの措置が取られており、復旧のメドは立ってない模様です。

## 雌阿寒岳火山情報

7 月 28 日札幌管区気象台は、雌阿寒岳における火口周辺情報を発表し、噴火警戒レベルを 2 に引き上げ、火口周辺の立入を規制しました。登山道の立入禁止区域は、阿寒湖畔コース…6 合目より上、雌阿寒温泉コース…7 合目より上、オンネトーコース…7 合目より上。

阿寒富士コースは、上記立入禁止コース（ポンマチネシリ火口から約 500m の範囲）外のため、登頂可能。ただし、噴火が発生した場合、風向きによっては小さな噴石が流されてくる場合があるため注意が必要としています。

登山道の立入規制を確認するための位置図は、釧路市の公式HPを参照してください。

私たちの国にふさわしい祝日が生まれます



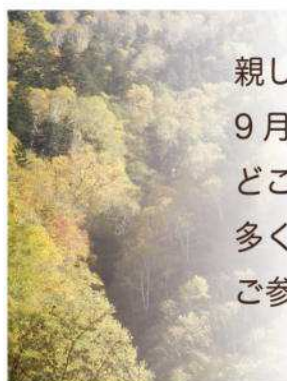
2016年 みんなで山を考えよう!  
8月11日 祝「山の日」  
全国「山の日」協議会 山に親しむ機会を得て 山の恩恵に感謝する

夏雲湧く十勝岳



平成27年 **10**月**4**日は  
(2015年)  
「ふるさとの山に登ろう！」

～ 道内各地の山岳会がご案内します ～



親しんだ地元の山で秋の一日を楽しみませんか？  
9月には各地で市民登山会の企画もあります。  
どこにお住まいの方でも OK ですよ！  
多くの登山愛好家の皆さんやご家族の  
ご参加を ぜひお待ちしております！

< 詳しくは 裏面をご覧ください >

初めての

「山の日」をお楽しみに♪

道岳連では 来年8月11日「山の日」に向けて  
スペシャル企画を検討しています。

道岳連ホームページ <http://www.hokkaido-haa.net>

山の日 北海道山岳連盟

検索



北海道山岳連盟



**道岳連だより**

北海道山岳連盟広報 No.75 平成27年8月31日発行

発行 北海道山岳連盟

事務所 札幌市豊平区月寒西3条10丁目2-48

発行責任者 小野 倫夫

編集担当(総務) 内藤 美佐雄